

中国株ウィークリーレポート

2019/6/10

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	25,983.94	263.28	1.02	4.71	11.39	23,327.46
NASDAQ	7,742.10	126.55	1.66	3.88	16.68	6,635.28
日経225	20,884.71	110.67	0.53	1.38	4.35	20,014.77
上海総合	2,827.80	-33.62	-1.17	-2.45	13.39	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,564.68	-32.43	-0.90	-1.79	18.40	3,010.65
ハンセン	26,965.28	69.84	0.26	0.24	4.33	25,845.70
中国企業	10,334.32	-10.73	-0.10	-0.51	2.07	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は0.2%高と5週ぶりに反発、上海総合指数は2.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.2%高と5週ぶりに小反発。週前半は米中対立激化を受けてリスク回避の動きが続いたが、パウエル FRB 議長の発言を受けて米利下げ期待が高まると、週後半にかけて持ち直す展開となった。ただ、ハンセン指数は27000ポイント付近では上値の重さが目立った。本土市場では上海総合指数が週間で2.4%安と反落。米中対立激化を受けてリスク回避の動きが続き、6日まで5日続落と3カ月ぶり安値を更新した。なお、香港・本土市場ともに7日は端午節のため休場だった。

今週の展望: 香港市場は神経質な展開か、米利下げ期待と米中対立激化で綱引き

香港市場は神経質な展開が予想される。米利下げ期待の高まりが相場の支援材料となる一方、米中対立は一段と激化しており、引き続き関連報道に一喜一憂する展開が続きそうだ。今週は中国の経済指標が相次いで発表されるが、強い内容なら景気の先行き懸念が後退し、弱い内容だったとしても中国政府による景気対策期待が高まることから、どちらに転んでもマイナス材料にはなりにくいか。本土市場も今週は神経質な展開が見込まれる。米中対立の激化は引き続き警戒されそうだが、景気対策期待が相場を支えそう。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 恒隆地産 (00101)	17.16	4.00
2 創科実業 (00669)	51.90	3.80
3 太古A (00019)	96.15	3.61
4 Link REIT (00823)	96.90	3.30
5 長江インフラ (01038)	62.50	3.22
6 長江実業地産 (01113)	58.40	3.00
7 支付宝・モバイル (00941)	70.40	2.85
8 新世界発展 (00017)	11.86	2.60
9 信和置業 (00083)	12.86	2.55
10 中国旺旺 (00151)	5.73	2.50

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬 (01177)	6.90	-12.77
2 石業集団 (01093)	11.52	-8.86
3 CNOC (00883)	12.16	-4.85
4 中国人寿保険 (02628)	17.64	-3.08
5 ホンコン・ファイナガス (00003)	16.92	-2.31
6 シベック (00386)	5.10	-2.30
7 ベトリファイ (00857)	4.28	-2.28
8 瑞声科技 (02018)	40.75	-2.28
9 中国平安保険 (02318)	85.25	-1.56
10 サンズ・ファイ (01928)	34.95	-1.55

▼今週の期待材料

- ◆パウエル FRB 議長が景気拡大持続のため「適切な行動を取る」と発言、米国で利下げ期待高まる
- ◆トランプ米大統領がメキシコへの制裁関税発動見送りを発表、世界的な景気減速への懸念が後退
- ◆物価統計や金融統計など中国の経済指標が今週発表、弱い内容でも中国政府による景気対策期待が高まる算

▼今週の懸念材料

- ◆中国側が独自技術の輸出を制限する制度の導入を検討、米中対立が一段と激化する算
- ◆米中協議に進展なし、ムニューシン米財務長官は「(現時点で)米中閣僚級協議開催の予定がない」と発言
- ◆香港で「逃亡犯条例」に反対する100万人規模の大規模デモ、デモ隊の一部が暴徒化して負傷者も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国海外発展 (00688) : 5月の不動産販売額が25%増加、販売面積は13%増
- ☆ テンセント (00700) : 中国当局がテンセントの輸入ゲーム2作品を承認
- ☆ 中興通説 (00763) : 中国当局が4社に5G免許発給、5G関連ビジネスが本格始動
- ☆ 龍源電力 (00916) : 5月の発電量が15%増加、1-5月は2%増
- ☆ 小米集団 (01810) : 連日自社株買いを実施、6日までの3日間で0.18%を取得
- ◇ BYD (01211) : 5月の新車販売台数が10%減、新エネ車は54%増
- ★ 中国工商銀行 (01398) : 中国当局が上海支店トップを規律違反の疑いで調査
- ★ 碧桂園 (02007) : 5月の不動産販売額が5%減少、販売面積は4%減
- ★ 広州汽車集団 (02238) : 5月の新車販売台数が4%減少、1-5月は3%減
- ★ 海通証券 (06837) : 5月の純利益が69%の大幅減、営業収益は36%減

▼今週の主なイベント

- 6月12日(水)
- 【中国】CPI、PPI(5月)
- 6月14日(金)
- 【中国】小売売上高、鉱工業生産(5月)、固定資産投資(1-5月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。